

平成24年度事業報告書及び事業報告の附属明細書

(平成24年9月3日～平成25年3月31日)

■事業報告

公益財団法人福岡国際交流協会は、市民の相互理解と友好親善を深めるため、下記の3つの柱に基づき各種事業を実施した。

一 市民の国際交流を促進する事業

市民の国際理解・国際協力への意識の高揚を図り、国際交流を推進するため、ボランティア交流推進、語学等を通じた国際理解、姉妹都市交流、国際交流団体のネットワーク推進等を行う。

二 在住外国人を支援する事業

外国人にも住みやすく活動しやすいまちにするため、福岡市中央区天神のイムズビル8階「レインボープラザ」で、国際交流などについての窓口相談や各種情報提供、外国人向けの専門家による相談を実施するほか、日本で生活に必要なマナーやルール、防災知識等を普及する。

三 外国人学生を支援する事業

福岡都市圏で学ぶ外国人学生が安心して勉学に励むことができるように、奨学金の支給や資金の貸付、福岡学生交流会館の管理運営、外国人学生支援プログラムなどの各種の支援を行う。

一 市民の国際交流を促進する事業

1 ボランティア交流推進

(1) ボランティア交流推進

国際交流ボランティア活動を促進し、市民の国際理解や国際感覚を涵養した。

ア ホームステイ・ホームビジット

外国人学生を始めとした外国人が、日本人家庭を訪問又は宿泊滞在して交流することにより相互理解と友好親善を図るため、ホストファミリーを登録し、依頼に応じて紹介した。

登録家庭 45 家庭

利用者 ホームステイ 2 人

イ 外国人学生ホームビジット交流

外国人学生と日本人家庭が継続的に(約5カ月)交流することにより、相互理解と友好親善を図るため、公募による外国人学生ホームビジット交流プログラムを11月から実施した。

対面式 第1回 平成24年11月11日 福岡学生交流会館大会議室

第2回 平成24年11月18日 イムズ10階セミナー室A

組合せ総数 38組(24カ国・地域)

ウ 語学ボランティアの紹介

国際交流の推進と外国人支援のため、語学を生かして通訳や翻訳等のボランティアを行う市民を登録し、依頼に応じて非営利の活動に派遣した。

登録者数 90 人、延べ活動者数 24 人

エ 国際交流ボランティア研修

語学ボランティア、ホストファミリーとして登録し活動を行っている国際交流ボランティアに対して、福岡の文化・歴史、国際交流事業、異文化理解、外国人支援など、ボランティア活動に必要な知識や情報を提供するため、研修会を実施した。

第1回 平成24年9月23日 レインボープラザ会議室

福岡市出前講座「これであなたも3R名人！」

講師 福岡市環境局家庭ごみ対策課 岸川係長

第2回 平成25年2月24日 保健環境学習室「まもる～む福岡」

福岡市の家庭ごみ分別に関するグループ討議、廃油石けんづくり、施設体験

2 語学等を通じた国際理解

(1) 留学生から学ぶ外国語教室

市民の国際交流の推進にあたり、留学生を講師として交流の有効な手段の一つである「言葉」の習得を手助けする教室を開催することにより、様々な言語で日常会話ができる程度の語学力を持つ人材を育て、かつ言葉の学習を通じて国際理解・国際交流を深める機会を提供した。

ア 実施主体 留学生外国語教室実行委員会

((公財) 福岡国際交流協会, (特活) アジア太平洋子ども会議・イン福岡)

イ 内容 中国語, 韓国語, ベトナム語, ロシア語等の 18 言語について 30 講座を実施

ウ 定員 各クラス 20 人 (こども英語・中国語教室は 10 人)

エ 講師 福岡在住の留学生

オ 受講者数 572 人

(2) フランス語講座

福岡市の姉妹都市であるフランス・ボルドー市との交流を促進するため、アンスティチュ・フランセ九州と共催でフランス語講座を行い、フランス語を習得する機会を市民に提供した。

ア 実施場所 アンスティチュ・フランセ九州

イ 実施主体 アンスティチュ・フランセ九州, (公財) 福岡国際交流協会

ウ 講座数 183 講座

エ 受講者数 延べ 531 人

(3) 韓国語弁論大会

韓国文化への理解や日本と韓国の相互交流を深めるため、韓国観光公社や福岡韓国総合教育院等が組織する福岡韓国語弁論大会実行委員会との共催で、福岡都市圏で韓国語を学習する市民を対象に韓国語の弁論大会を開催した。

ア 実施主体 福岡韓国語弁論大会実行委員会, (公財) 福岡国際交流協会, 福岡市

イ 実施時期 平成 24 年 11 月 25 日

ウ 実行委員会実施回数 3 回 (9 月 19 日, 10 月 17 日, 11 月 7 日)

エ 出場者 9 人

オ 参加者 130 人

(4) 外国人による日本語スピーチコンテスト

外国人に日本語を学ぶことを奨励し、その成果を顕彰するとともに、日本人と外国人の相互交流・相互理解の場を提供するため、実行委員会と協力し、コンテストを開催した。

ア 実施主体 日本語スピーチコンテスト実行委員会, (公財) 福岡国際交流協会, 福岡市, 福岡外国人学生支援の会

イ 実施時期 平成 24 年 10 月 21 日

ウ 実行委員会実施回数 2 回 (9 月 27 日, 11 月 28 日)

エ 出場者 28 人

オ 参加者 243 人

(5) 国際理解教育講師派遣事業

青少年の国際理解の推進・国際力の育成を目的として、福岡市内の小・中学校へ留学生等を講師として派遣した。

(公財) 福岡県国際交流センター及び (公財) 北九州国際交流協会と共同実施。

実績 派遣先 11 校 (福岡市), 派遣講師 27 人

3 姉妹都市交流

福岡市の姉妹都市と青少年交流等を行い、両市市民間の相互理解を図った。

(1) 福岡・イポー青少年交流事業

高校生がホームステイや学校訪問、市内見学等を通じてお互いの生活・文化を体験することにより、両市市民間の相互理解を図るとともに、国際的感覚を身につける機会を提供するために、平成24年7月31日から8月9日まで派遣した訪問団の事後研修や報告書の作成を行った。（隔年相互交流）

(2) 福岡・USオークランド青少年交流事業

高校生がホームステイや学校訪問、市内見学等を通じてお互いの生活・文化を体験することにより、両市市民間の相互理解を図るとともに、国際的感覚を身につける機会を提供するために、平成24年7月27日から8月8日まで派遣した訪問団の事後研修や報告書の作成を行った。（隔年相互交流）

(3) グローバル・ギャザリング参加

釜山国際交流財団が釜山広域市において開催する国際イベントである「グローバル・ギャザリング」に参加し、姉妹都市である福岡を紹介するとともに、現地市民との交流を行った。
実施時期 平成24年10月20日

4 国際交流団体のネットワーク推進等

(1) 地球市民どんたく

福岡を拠点に国際協力・交流を行うNGO等の団体の活動紹介ブースの設置やワークショップ等を行うイベントの実施を通じて、国際協力・交流に対する市民の理解と支援を得るとともに、団体間の情報交換と連携を深めることで団体の活動を活性化した。

ア 実施主体	地球市民どんたく実行委員会、（公財）福岡国際交流協会
イ 実施時期	平成24年11月10日、11日
ウ 内容	NGO活動紹介ブース、ワークショップ等
エ 参加者	約1,000人

(2) 福岡国際関係団体連絡会（FUKU-NET）

福岡都市圏の国際交流・協力を行う様々な団体のネットワーク組織。各団体間の連携を図り、地域の国際化に寄与することを目的として、連絡会などを開催した。

ア 加入団体	76団体
イ 内容	連絡会3回
ウ 事務局	（公財）福岡国際交流協会内

二 在住外国人を支援する事業

(1) 一般相談・情報提供

レインボープラザにおいて、外国人や市民が必要とする観光、催事、医療、生活、伝統文化、国際交流・国際協力等全般にわたる相談や情報提供を行った。また、各種のガイド等を発行するとともに、ホームページ上にも掲載し、随時、情報を更新した。

ア 英語、中国語、韓国語、日本語対応による窓口相談

来場者数 49,427 人、うち外国人 21,190 人

窓口相談 9,396 人、うち外国人 4,715 人

イ 外国語報道番組（CNN）のTV放映、無料インターネットの利用提供

利用者数 1,929 人

ウ 新聞、図書、パンフレット等の資料収集・提供

図書貸出冊数 865 人

エ 外国語情報紙（英・中・韓）の発行

英語版 5,500 部／隔月、中国語版 2,500 部／隔月、韓国語版 2,500 部／隔月

（3月末までに3回発行：11・12月号、1・2月号、3・4月号）

オ ホームページ及びメールマガジンによる情報提供

ページビュー数 1,095,876 件

(2) 外国人向け広報ラジオ番組

外国人に対して、協会が行う事業等の広報や情報入手先としてのレインボープラザの認知度を高めるため、英語、中国語、韓国語の3カ国語により、ラブエフエム国際放送（株）を通じてラジオ広報を行った。

ア レインボープラザ・インフォメーション（3分番組）

協会が行うイベント情報や生活情報等を、英語、中国語、韓国語の3カ国語により放送した。放送回数 150 回

イ スポットCM（20秒番組）

レインボープラザのサービス等を英語、中国語、韓国語の3カ国語で放送した。

放送回数 93 回

(3) 在住外国人へのマナー紹介

福岡での在住外国人の快適な生活を可能にするとともに、日本人市民と外国人市民双方の暮らしの安心感を高めるため、新たに福岡に来て日本語学校に入学した外国人学生を対象とした自転車マナーやごみマナーに関する出前講座を行った。また、在住外国人市民を対象としたDVD、インターネット動画による日本での生活に必要なマナーやルール、暮らしのヒントや防災知識の普及を行った。

ア 出前講座実施主体 （公財）福岡国際交流協会、福岡市（市民局、環境局）、福岡県警察

イ 出前講座実施回数 12 回

ウ 出前講座実施場所 市内の日本語学校

エ 出前講座参加者数 留学生延べ 469 人

(4) 外国人専門相談

レインボープラザにおいて、在住外国人の生活上の諸問題について専門家による無料相談会を開催した。

ア 外国人法律相談

法的慣習や文化の違いから、紛争解決に関して一般的に弱い立場に置かれがちな外国人に対し、福岡県弁護士会と共催で法律的な助言、指導を行った。

2回／月（第1・3土曜日） 予約制 福岡県弁護士会と共催

実施件数 31 件

イ 外国人のための入国・在留・国籍に関する相談

外国人の在留のために不可欠な在留資格や外国人登録等の行政手続に関する正確な情報と助言を提供した。

1回／月（第2日曜日） 福岡県行政書士会と共催

実施件数 44件

ウ 外国人心理カウンセリング

言葉の問題や生活環境の違いなどから精神的問題を抱える外国人を対象に、問題の解決に向けた臨床心理士による心理カウンセリングを行った。

3回／週（月・木・土曜日）予約制

実施回数 延べ157回

エ 外国人健康相談

健康上の問題を抱えている外国人のために、当協会においてボランティア医師との共催で、医学的な助言、指導を行った。

毎週水曜日

相談件数 18件

オ 福岡在住外国人支援関連機関連絡協議会

外国人の生活に密接に関係する機関相互の連携・情報共有を図り、外国人をめぐる諸問題の解決を促進するため、福岡在住外国人支援関連機関連絡協議会事務局を運営する。

（保健福祉，医療，教育，女性，法律関係等16機関参加）

実施：平成25年2月28日

議題：「外国人児童に対するいじめ，差別の問題」事例紹介とディスカッション

（日本語教室設置校連絡会，福岡市こども総合相談センター，九州日本語教育連絡協議会 他）

三 外国人学生を支援する事業

（1）福岡市レインボー留学生奨学金

福岡都市圏で学ぶ留学生が安心して勉学に励むことができる環境づくりを生活資金面から支援するために奨学金を支給した。

ア 支給金額 20,000円／月

イ 支給人員 115人

ウ 支給期間 1年間

（2）ユニバーシアード市民の会記念奨学金

ユニバーシアード市民の会からの寄付金を基に、福岡都市圏の大学院で学ぶ留学生を対象に奨学金を支給した。

ア 支給金額 448,000円／年

イ 支給人員 5人

ウ 支給期間 1年間

(3) よかトピア留学生奨学金

(公財)よかトピア記念国際財団からの寄付金を基に、地場企業との交流や就業体験を通じて地場企業への海外高度人材の定着と地域の国際化・活性化に寄与するため、福岡で就業を希望する留学生に奨学金を支給した。

- ア 支給金額 60,000 円/月
- イ 支給人員 5人
- ウ 支給期間 1年間(継続可)

(4) 留学生育英奨学金

福岡都市圏で学ぶ留学生が安心して勉学に励むことができる環境づくりを生活資金面から支援するために、団体や企業、個人からの寄付金により奨学金を支給した。特に奨学金の名称や支給対象は寄付者の希望により定めるもので、寄付者の社会的貢献を明らかにするとともに、寄付者と受給する留学生の顔が見える交流を促進した。

- ア 支給金額 大学院生 年額 50 万円以上、学部生 年額 30 万円以上
- イ 支給人員 9 奨学金, 12 人
- ウ 支給期間 寄付者の希望により決定。

※なお、奨学金事業を円滑に推進するために、企業市民と留学生(奨学金受給者)の交流の機会とするサロンを実施した。(留学生奨学金推進事業)

(5) 留学生資金貸付

福岡都市圏で学ぶ留学生が、生活費、住宅費、医療費、学費、一時帰国費等で、一時的、臨時的に多額の出費が必要な場合に資金の貸付を行うことにより、安定した勉学ができるよう支援を行った。

- ア 貸付限度額 200,000 円
- イ 新規貸付件数 8 件
- ウ 新規貸付金額 959,000 円

(6) 福岡学生交流会館管理運営

福岡都市圏に所在する大学に在籍する外国人学生の世帯向けに比較的安価で良質の住居を提供するとともに、留学生及びその他の外国人と市民との交流並びにその他の国際交流の促進に資する事業を行う場を提供した。

- ア 所在地 博多区店屋町 4 番 1 号 (4, 5 階)
- イ 施設概要 4 階 国際交流フロア (貸会議室等 5 部屋)
5 階 世帯用宿舎 (2DK 5 戸)
- ウ 利用状況 4 階 国際交流フロア 利用者延べ 1,701 人
5 階 世帯用宿舎 5 世帯入居

(7) 「あったか福岡」外国人学生支援プログラム

外国人学生が有意義な生活を送ることができる環境づくりを推進するため、市民や企業、各種団体からなる「福岡外国人学生支援の会」や福岡市と協力し、「日本語おしゃべりサロン」(月 2 回)や「外国人学生が語るふるさとの街と福岡」(月 1 回)、「外国人学生歓迎交流事業」などの交流事業を中心に実施した。

事務局：(公財)福岡国際交流協会内

四 理事会及び評議員会の開催状況等

会議名	開催日	内容
理事会	H24. 10. 30	議案審議 ・平成 24 年度事業報告及び決算に関する件（財団法人福岡国際交流協会） ・平成 24 年度事業計画及び収支予算に関する件（公益財団法人福岡国際交流協会） ・公益財団法人福岡国際交流協会の基本財産の確定に関する件 ・評議員会の開催に関する件
評議員会	H24. 11. 26	報告 ・平成 24 年度事業報告及びその附属明細書に関する件（財団法人福岡国際交流協会） ・平成 24 年度事業計画及び収支予算に関する件（公益財団法人福岡国際交流協会） 議案審議 ・平成 24 年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）並びにこれらの附属明細書，財産目録に関する件（財団法人福岡国際交流協会） ・公益財団法人福岡国際交流協会評議員及び役員の報酬並びに費用に関する規定に関する件
理事会	H25. 1. 15	議案審議（決議の省略による） ・公益財団法人福岡国際交流協会資産運用規程の制定に関する件
理事会	H25. 3. 27	報告 ・決議の省略に関する件 議案審議 ・平成 25 年度事業計画及び収支予算等に関する件 ・公益財団法人よかトピア記念国際財団との統合（合併）に関する件

■事業報告の附属明細書

記載すべき事項は，ありません。